

高田製薬CSRビジョン

経営理念の実現を通じて、会社の発展と持続可能な社会の構築に貢献します。

高田製薬では2019年10月、人事総務部内にCSR推進課を立ち上げ、翌年10月より各本部からCSR推進協力メンバーを選抜し、全社一丸となるCSR推進体制を構築しました。現在は以下に挙げられるCSRビジョンを掲げて活動しております。

CSR* (企業の社会的責任) ビジョン

私たち高田製薬は、飲みやすく 使いやすい くすりを提供することで、
患者さんや医療関係者に貢献するとともに、
企業倫理と透明性の維持を図り、地域社会の発展に寄与し、地球環境を守ることで、
すべての人々に信頼される企業を目指します。

*CSR : Corporate Social Responsibility

このCSR推進体制をリードする推進協力メンバーは、プロレスのタッグマッチのように「タッチによって交代する。引き継ぐ」、「協力して事にあたる」という意味をこめて『TAG』と名付けられ、活動しております。

TAGチームではまず、上記「CSRビジョン」策定に組み込みました。策定にあたっては、他社には無い、高田製薬らしいビジョンになるよう意識しました。

ビジョン策定に続いて2022年度は「おくすり教室」の実施を進めています。

薬の服用にあたっては、定められた飲み方を守ることが必要です。飲むタイミングを間違えて理解していたり、適切ではない飲み方をしてしまったりと、十分な効果が得られない場合があります。薬をより安全で効果的に服用してもらうために、製薬会社として正しい情報を伝えることもCSR活動の一環であると考えています。

また、社内での寄付活動はこれまで、歳末助け合い運動および甚大な災害が発生した際の臨時的な募金のみでしたが、寄付に賛同する社員が日常的に活動できるよう、自動販売機に寄付型商品の設置を提案し、2022年1月、本社から試験的に運用を開始しました。

高田製薬の主なCSR活動

- 環境への取組み
廃棄物削減、省エネなど
- 地域・社会に向けての活動
「おくすり教室」の実施、寄付活動など
- 働きやすい制度づくり
年次有給休暇の積立制度
時間単位有給休暇などの導入



TAGチームのキックオフミーティング

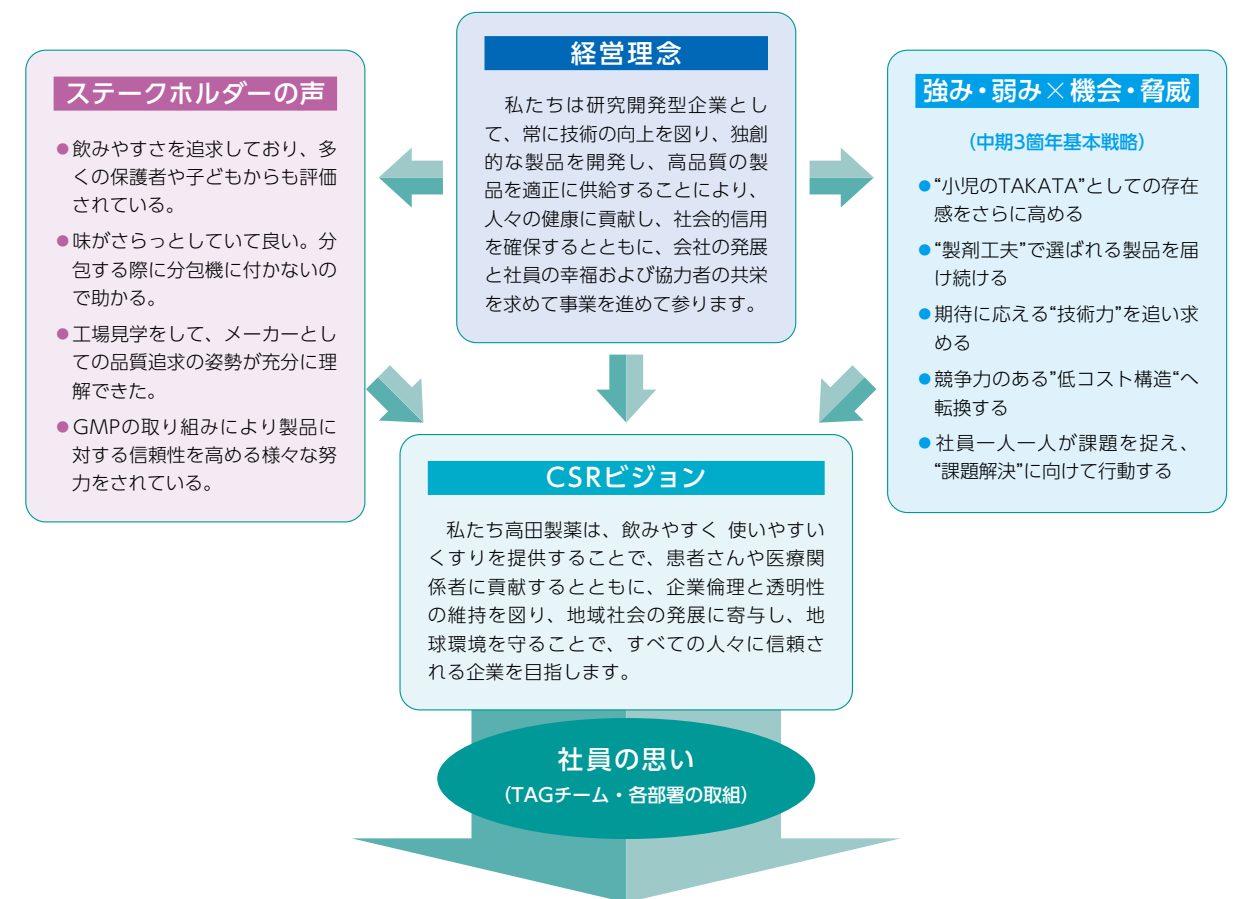
高田製薬CSR重要課題 (マテリアリティ)



高田製薬の経営理念には、人々の健康への貢献を通じた幸福と共栄への願いが明記されています。これらは、当社事業の特徴や事業活動の方針となり、高田製薬ひとりひとりの思い、組織への思いに繋がっています。また、事業活動に対するステークホルダーの印象や評価から、より広い社会的観点を持った事業活動への意識が芽生えています。高田製薬では、これらをCSRビジョンに盛り込み、事業の関連性と社会への貢献度の観点から、高田製薬CSR重要課題 (マテリアリティ) を設定しました。

設定した重要課題 (マテリアリティ) については、関連する課題やリスクを洗い出し、具体的な取組みを推進しています。また、ステークホルダーからの要請や社会の変化などを踏まえ、定期的に課題設定の妥当性などを確認し、必要な場合には更新していく考えです。

高田製薬CSR重要課題 (マテリアリティ) の特定プロセス



CSR重要課題 (マテリアリティ)

- 医薬品の品質確保及び安定供給
- 法令遵守、公正・誠実な事業活動
- サステナブル調達の推進
- 健康寿命の延伸・社会貢献活動・子供達への支援
- 多様な従業員が働きやすい職場環境改善・整備の推進
- 環境保全への対応